

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービススカル			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムを通しての基礎体力作り	・毎週土曜日の地域のスポーツ施設での水泳療育 ・週1回の運動療育の実施 ・公共施設を使用し、マナーやルールを学びソーシャルスキルの向上を目指す。	・プログラムを通しての仲間作り。 ・「出来るまで」の過程を大切に、「出来た」時の達成感や喜びをたくさん経験出来るよう支援する。
2	就労に向けてのプログラム実施	・就労プログラムを通して、挨拶や報連相の重要性等を学び卒業後を見据えての訓練を行う	・将来必要となる生活スキルや買い物、公共交通機関の利用方法を学ぶ
3	資源ゴミのリサイクル活動	・資源ゴミの種類を調べ、アルミ缶をつぶす等の作業をしながら、リサイクルの重要性を学ぶ。	・ゴミ処理工場へ行き、大量のリサイクル方法を見学する機会を設ける

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職員の不足	ST等の専門的な訓練が必要(希望)な利用児童が多いが、専門職員が不足しているため、実施出来ている利用児童の数は少ない。	研修や勉強会を通して訓練方法を学び、専門職員以外の職員が訓練を行える仕組み作りを行ってまいります。
2	放課後児童クラブ・や児童館との交流や、地域の他のこどもとの交流が行えていない。	近隣の公園や施設を使用することはあるものの、現地で地域の子どもと交流する機会はできていない。	地域のお祭りや活動に積極的に参加することで近隣の方々との関係を築き、交流できる機会を増やしていく。
3			